

二十歳の誓い

私は、日本人の父とフィリピン人の母から生まれたダブルです。5歳までフィリピンに住んでいましたが、6歳のときから日本に住むことになりました。

京都に来て一番驚いたのは、京都がすごい綺麗な街だということです。フィリピンではゴミが落ちているのが当たり前で気にもしていなかったのですが、京都ではゴミが落ちていることが逆に珍しいのです。けれども、出掛ける前にシャワーをする習慣がないことは理解ができませんでした。必ず友達と会うとき、あるいは仕事に行くときはシャワーを浴びる習慣があり、自分の体臭には敏感なんです。子どもながらフィリピンと日本の違いに戸惑う毎日でした。

そして日本に住み始めてすぐに学校に通うことになりましたが、日本語が上手く話せず、コミュニケーションもできないために周りからは浮いた存在でした。そんな私を救ってくれたのが当時の担任の先生でした。日本語と集団の中での規律を根気強く教えてもらったお陰で、少しずつ学校になじんでいくことが出来ました。

中学の部活の顧問の先生にも助けてもらいました。学業と部活の両立ができず、学校生活が乱れ、ドロップアウトしかけていた私を引っ張り上げ、鍛え直してもらったのです。先生の指導のおかげで、真面目にコツコツと頑張る人間が1番かっこいいという考えを見いだすことができました。

そして高校時代の担任の先生から「お前は日本人とフィリピン人の両方を兼ね備えたダブルだな！」と言われたときから、ハーフ「半分」ではなくダブルの自分を誇れるようになったのです。

今までの先生との出会いが私の中で大きく影響し、今、小学校教師という夢を明確に持つことができました。現在、大学で教育について学び、日々精進しています。今まで出会ってきた先生のような、人に影響を与えられる人になりたいと思っています。

好きな言葉があります。『信は万物の基となる』という言葉です。『信』とは『信用・信頼・自信』です。人間は『信』なくして何ごとも始まらないという意味です。これから、社会に出る私は周りを信用し、周りから信頼され、自信を持って生きていくことを「二十歳の誓い」とさせていただきます。

平成30年1月8日 新成人代表 峯 聡